



SOMPOケア  
介護の未来を変えていく

# SOMPOケア成城定期巡回

## 第五回介護医療連携推進会議

2025年10月28日(火曜日)

会場 SOMPOケア成城

© Sompo Care Inc. All Rights Reserved.

# SOMPOケア成城 事業所概要

---

## ①事業所名

SOMPOケア成城

## ②事業内容

- ・ 定期巡回随時対応型訪問介護看護
- ・ 訪問介護
- ・ 夜間対応型訪問介護(世田谷サテライト)
- ・ 訪問看護 (東京サテライト)
- ・ 居宅介護支援事業所

## ③問い合わせ 受付 曜日/時間

月曜日～金曜日/9:00～18:00  
ご利用者様受け入れ 24時間

## ④職員人数 (基幹・サテライト)

管理者1名、計画作成責任者13名  
オペレーター7名、訪問介護員49名

## ⑤サテライト名

成城西サテライト

世田谷千歳台サテライト

烏山サテライト

# 介護・医療連携推進会議の目的

---

## 1、 介護医療連携推進会議の目的には・・

- ①事業所運営の透明性の確保
- ②サービスの質の確保
- ③事業所における『抱え込み』の防止
- ④地域との連携の確保  
※事業所が提供しているサービス内容を  
明確にし①～④を達成することを目的

## 2、 構成メンバー

地域を様々な立場で支えている方々

# 定期巡回のご説明

---

①定期巡回サービスは ヘルパーが定期的に巡回します。

一日複数回の訪問を想定し、訪問時間を決定します。  
訪問の回数や時間等は適切なアセスメントに  
基づき作成いたします。

利用者様の心身の状況に応じて、訪問回数が柔軟に変更可能です。  
また、訪問時間についても、必要なケアの内容に応じ  
柔軟に設定しております。頻回訪問が可能です。

# コール対応・随時訪問

---

随時対応サービスは 通報を受けて  
オペレーターが相談援助をします。

随時訪問の必要性を判断します。

利用者様だけではなく、家族様からのご相談も対応します。

随時訪問サービスは 随時対応の判断で、  
必要に応じてヘルパーが訪問します。

通報より、概ね三十分以内に駆けつけられる体制確保に努めること。



# 24時間サービスのイメージ

## サービス概要

「24時間365日、切れ目のない安心感を得ることが出来る」

図表2 ▶ 巡回と随時コールによる24時間365日のつながりのイメージ

- 24時間自立している状態



- 白地部分について援助が必要な状態



- 定期巡回・随時対応サービスを利用した場合



巡回と随時コール受付にて24時間365日切れ目なく関わり続けるため、利用者は安心して自宅で暮らすことができる

訪問介護

定期巡回  
夜間対応(24H)

# 2024年度 報酬改定

## 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 基本報酬

区分	要介護度・加算名	現行 (／月)	改定後 (／月)
一体型事業所			
	要介護 1	5,697	5,446 (-251単位)
	要介護 2	10,168	9,720 (-448単位)
	(訪問看護なし)		
	要介護 3	16,883	16,140 (-743単位)
	要介護 4	21,357	20,417 (-940単位)
	要介護 5	25,829	24,692 (-1,137単位)
	(訪問看護あり)		
	要介護 1	8,312	7,946 (-366単位)
	要介護 2	12,985	12,413 (-572単位)
連携事業所	要介護 3	19,821	18,948 (-873単位)
	要介護 4	24,434	23,358 (-1,076単位)
	要介護 5	29,601	28,298 (-1,303単位)
	(訪問看護なし)		
	要介護 1	5,697	5,446 (-251単位)
連携事業所	要介護 2	10,168	9,720 (-448単位)
	要介護 3	16,883	16,140 (-743単位)
	要介護 4	21,357	20,417 (-940単位)
	要介護 5	25,829	24,692 (-1,137単位)
夜間訪問型 (新設)			
	基本夜間訪問型サービス費	—	989
	定期巡回サービス費	—	372
	随時訪問サービス費(I)	—	567
	随時訪問サービス費(II)	—	764

1 mm

1(2)④ 総合マネジメント体制強化加算の見直し

加算関連

単位数

概要

【定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護★、看護小規模多機能型居宅介護】

A A 回数 単位数

定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び（看護）小規模多機能型居宅介護が、地域包括ケアシステムの担い手として、より地域に開かれた拠点となり、認知症対応を含め様々な機能を発揮することにより、地域の多様な主体とともに利用者を支える仕組みづくりを促進する観点から、総合マネジメント体制強化加算について、地域包括ケアの推進と地域共生社会の実現に資する取組を評価する新たな区分を設ける。なお、現行の加算区分については、新たな加算区分の取組を促進する観点から評価の見直しを行う。【告示改正】

<現行>

<改定後>

加算名

単位数(月)

加算名

単位数(月)

総合マネジメント  
体制強化加算

1,000単位

総合マネジメント  
体制強化加算(Ⅰ)

1,200単位  
(新設)

総合マネジメント  
体制強化加算(Ⅱ)

800単位  
(変更)

算定要件（(4)～(10)は新設）

加算(Ⅰ)：1200単位  
(新設)

加算(Ⅱ)：800単位  
(現行の1,000単位から見直し)

小規模多機能  
型居宅介護

看護小規模多機  
能型居宅介護

定期巡回・時  
時対応型訪問  
介護看護

小規模多機能  
型居宅介護

看護小規模多機  
能型居宅介護

定期巡回・時  
時対応型訪問  
介護看護

(1) 個別サービス計画について、利用者の心身の状況や家族を取り巻く環境の変化等に基づき、介護職員（介護士等）や看護職員等の協働体制により、随時適切に見直しを行っていること

(2) 利用者の地域における多様な活動が確保されるように、日常的に地域住民等との交流を図り、利用者の状態に応じて、地域の行事や活動等に積極的に参加していること

(3) 地域の病院、診療所、介護老人保健施設等に対し、事業所が提供するものとなる見守り等の具体的な内容に関する情報提供を行っていること

(4) 日常的に利用者や関係のある地域住民等との相談に対応する体制を確保していること

(5) 必要に応じて、多様な主体が提供する生活支援のサービス（インシニョーショナル・サービスを含む）が包括的に提供されるような居宅サービス計画を作成していること

(6) 地域住民等との連携により、地域資源を効果的に活用し、利用者の状態に応じた支援を行っていること

(7) 障害福祉サービス事業所、児童福祉施設等と連携し、地域において世代間の交流の場の拠点となっていること

(8) 地域住民等、事業所等と共同で事業活動、研修会等を実施していること

(9) 市町村が実施する障がい者の在宅医療・介護連携推進事業等の地域支援事業等に参加していること

(10) 地域住民及び利用者の住まいに関する相談に応じ、必要な支援を行っていること

事業所の時  
間において  
1つ以上  
実施

事業所の時  
間において  
1つ以上  
実施

(注) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、「介護支援サービス事業所」「認知症対応型等」に地域、多様な主体の協力を図っていること」が要件



## 定期巡回と指定訪問介護の比較

	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	訪問介護
介護保険利用	包括報酬	出来高払い
最少サービス時間	制限なし 必要な援助に・必要な時間が原則	20分以上 (身体1の場合)
訪問回数 随時対応の可否	介護度別時間内 制限なし (短時間・頻回訪問が原則) 随時対応・随時訪問可能	区分支給限度額に左右 (上限超過時は、10割負担) 随時訪問は制限あり
規制	制限なし	サービス実施から、次回サービスまで2時間以上空けなければならない。
援助の位置づけ	ケアプランに基づき、柔軟に変更可能	ケアプランでの取決めに基づく
アセスメント	ケアマネジャーと訪問看護師・ 計画作成責任者が共同で行う	ケアマネジャーが行う
利用対象者	要介護1～要介護5 住所地がその自治体の方のみが対象	要支援1～要介護5 住所地は不問
事業所	1事業所のみ利用可	複数の事業所併用可